

## 民法 出題の意図

### 問題1

民法における基本的な概念について、抽象的な定義、関連条文、具体例を説明することにより、当該概念の理解を確認する問題である。実務法曹となるための学習を進めていく上で、最低限のスタートラインに立っているかを確認している。

### 問題2

時効取得と登記、占有の相続に関連する問題である。登記を経由していない占有者が、登記名義人に対して所有権を主張するために、土地の時効取得したことを原因とできないかを検討する。判例によれば、相手方が時効完成前の第三者であれば、登記を経由していなくても、所有権を主張できる。また、相手方が被相続人の他主占有を主張立証する可能性があるところ、相続人が、相続が新たな占有取得の原因たる事実にあたり得るとして（185条）、自主占有事情のあることを主張立証できるかを論じる。